

# 第16回ふくしま ボランティアフェスティバル 開 催 要 綱

## 1. 目 的

東日本大震災から既に1年9カ月が経過しました。その間福島県でも県内外から多くのボランティアの支援をいただきました。

現在でも生活支援を中心に活動が継続しており、改めてボランティアの重要性を認識することとなりました。

ボランティア活動に対する期待が年々高まるなか、その活動範囲も活動形態も多様なボランティア活動が今日の地域を支えています。今後も本県では、復興へ向け、ボランティア活動の輪をさらに広げ、ともに支えあう地域づくりを推進するために、本フェスティバルを開催します。

## 2. 主 催

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

## 3. 共 催(予定)

NHK福島放送局

## 4. 後 援(予定)

福島県	福島県教育委員会	社会福祉法人 福島県共同募金会
福島市	福島市教育委員会	社会福祉法人 福島市社会福祉協議会
福島民報社	福島民友新聞社	

## 5. 開催日時

平成25年2月23日(土)

【 式典・記念講演 】 10:30～12:30

【 シンポジウム等 】 13:30～15:15

## 6. 会 場

パルセいいざか

【住 所：福島市飯坂町字筑前27番地の1】

## 7. 参加者


- (1) ボランティア活動に参加している方、参加したことがある方
- (2) ボランティア活動の推進に関わっている方
- (3) ボランティア活動に関心のある方

など、どなたでも参加できます。

## 8. 参加費

無 料

## 9. 日程・内容

時 間	内 容
10 : 30~11 : 05	<p><b>開 会 式 典 (ホール)</b></p> <p>あいさつ 福島県社会福祉協議会長 NHK福島放送局長</p> <p>祝 辞 福島県知事 福島市長</p> <p>功労者等表彰 福島県知事感謝 (個人・団体) 福島県社会福祉協議会会長表彰 (個人・団体) 福島県社会福祉協議会会長感謝 (個人・団体)</p>
11 : 05~11 : 15	<p><b>休 憩</b></p>
11 : 15~12 : 30	<p><b>記 念 講 演 (ホール) 【主催 NHK福島放送局】</b></p> <p>テーマ「人と人がつながるしくみをつくる」</p> <p>講師コミュニティデザイナー／studio-L 代表 ／京都造形芸術大学教授</p> <p><b>山崎 亮 (やまざき りょう) 氏</b></p> <p>【プロフィール】 studio-L 代表。京都造形芸術大学教授。 1973年愛知県生まれ。まちの課題を、まちに住む人たちが解決するための方法を提案する、コミュニティデザインという仕事に携わる。まちに住む人たちと一緒に、意見やアイデアをまとめていくワークショップを行い、その地域の将来を考える総合計画づくりを行う。建築やランドスケープのデザイン、公園や駅前などの公共的な空間を使いこなすためのプログラムの仕組みを考えたり、プロジェクトの計画づくりにも携わる。関わる人が、常にそのプロジェクトを通じて、積極的にまちへと関わられるチームを生み出すことを目指している。離島や地方自治体、公園からデパートや駅前、病院など、仕事のフィールドは多岐にわたる。</p> <p>著書に『コミュニティデザイン』(学芸出版社)、『ソーシャルデザイン・アトラス』(鹿島出版会)、『コミュニティデザインの時代』(中公新書)、共著に『まちの幸福論』(NHK出版)、『コミュニティデザインの仕事』(株式会社ブックエンド)、『コミュニケーションのアーキテクチャを設計する』(彰国社)、『幸せに向かうデザイン』(日経BP社)、『藻谷浩介さん、経済成長がなければ僕たちは幸せにはなれないのでしょうか?』(学芸出版社)、『まちへのラブレター 参加のデザインをめぐる往復書簡』(学芸出版社)、編著に『つくること、つくらないこと』(学芸出版社)、『クリエイティブで世界を変える』(六耀社)などがある。</p> 
12 : 30~13 : 30	<p><b>昼 食 ・ 休 憩</b></p> <p>※ 2階ホワイエで、福島県授産事業振興会によるSELP製品の販売を予定しています。</p>

時 間	内 容
13 : 30～15 : 15	<p><b>【分科会A】 シンポジウム（ホール）</b></p> <p><b>「県外広域避難者支援の現状と課題そしてこれから」</b></p> <p>震災以降福島県では1年9カ月が経過した現在でも5万人を超える県外避難者がおります。</p> <p>県外に避難されている方への生活等について実際に支援されている中での現状や課題を共有し今後ボランティアにもできることなど、支援方法について考えます。</p> <p>進 行 役 ○ 一般社団法人 ふくしま復興連携センター NPO 法人 ビーンズふくしま被災子ども支援部門 理 事 中鉢 博之 氏</p> <p>シンポジスト ○ 元 特定非営利活動法人 地域活動サポートセンター 柏崎市被災者サポートセンター「あまやどり」 統括訪問支援員 大掛 幸夫 氏</p> <p>○ 鶴岡市社会福祉協議会 避難者支援事業担当 志賀 恭子 氏</p>
	<p><b>【分科会B】 体を動かそう！（第1・2会議室） 定員 150名</b></p> <p><b>「普段から手軽に活かせるレクリエーションを体験しよう」</b></p> <p>現在県内では多くのサロンや茶話会が設けられていますが、そこでの簡単なレクリエーションや体を使ったゲームなどを学び普段のサロン等ですぐに使えるように体験してみましよう。</p> <p>講 師 特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会</p> <p><b>【内容】</b> ① コミュニケーションワーク ～レクリエーション活動を進めるコツ～</p> <p>② サロン等で使える楽しい種目 ～各コーナーに分かれて体験しましょう～</p> <p>③ その他、レクリエーション用品・手引き等の展示</p>

## 10. 申込み問合せ先

社会福祉法人福島県社会福祉協議会 地域福祉課（ボランティアセンター）  
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111  
TEL 024-522-6540 FAX 024-522-6546

## 11. その他

(1) 分科会Bは申込み多数の場合、希望にそえないことがありますのでご了承ください。

(2) 希望する方に昼食の申込みを受付けます。参加申込書の申込み欄に○をつけてください。

団体で取りまとめをして申込される場合、昼食引換券や領収書は、まとめて1枚での発行となります。分割した個数・金額にて発行希望の場合は、申込書の連絡事項欄に、宛名及び個数をご記入ください。

なお、当日の申し出につきましては対応できかねますので、予めご了承ください。

昼食代 700円（税込・お茶付）